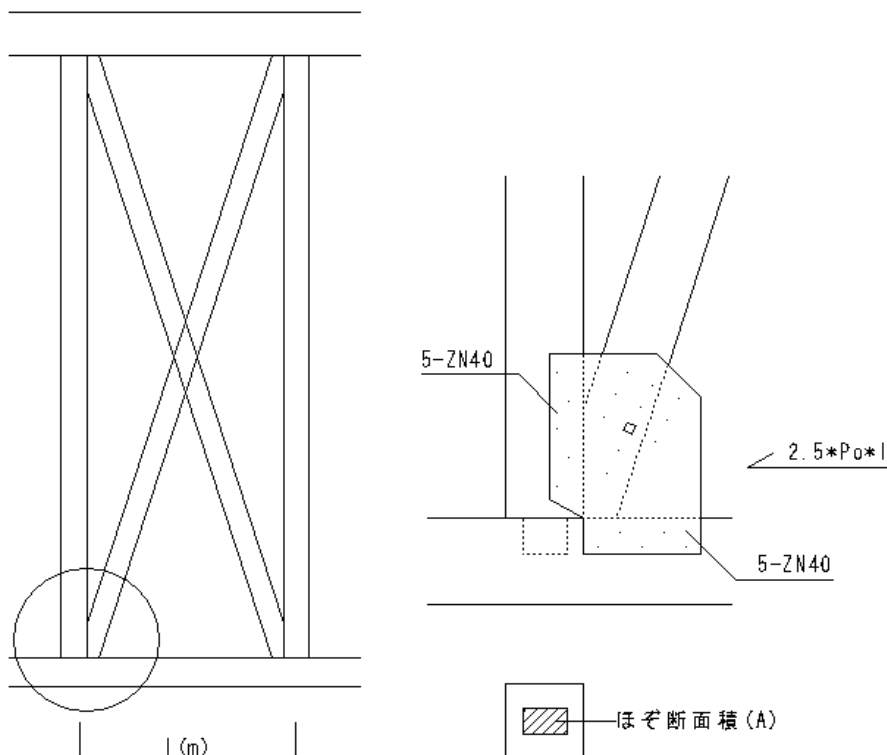


●柱ほぞ断面の検討

筋かい耐力壁の取りつく柱における柱ほぞ断面のせん断力に対する検討を行う。
 ほぞ断面の許容せん断耐力と釘による許容せん断耐力を合算しているが、実際は仕上げ面材や引き抜き用金物等も耐力要素として考慮できる事から問題はないと考えられる。



壁倍率(A)	圧縮筋かい	2.5 倍	以上より、ほぞ及び釘のせん断耐力と負担するせん断力を比較検討する。
基準耐力(Po)		1.96 kN/m	
壁長(l)		1.0 m	
ほぞ断面形状係数(α)	長方形	1.5	4320 + 2586 + 2252 ≥ 7350
負担せん断力	$A*Po*I*\alpha$	7.35 kN	

∴ OK

ほぞ断面積(A)	40 × 60	2400 mm ²
せん断基準強度(Fs)	すぎ無等級材	1.8 N/mm ²
ほぞ許容せん断耐力	$A*Fs$	4320 N

釘胴部径(d)	ZN40	3.33 mm
基準比重(土台)	ひのき無等級材	0.37
	樹種による係数(K)	35.6
	釘本数(N)	5 本
基準比重(柱)	すぎ無等級材	0.32
	樹種による係数(K)	31.0
	釘本数(N)	5 本
荷重継続期間影響係数(K短期)		2.0
含水率影響係数(Kjm)		2/3
接合システム係数(Kjs) ① 釘配列による		1.00
② 側材による		1.25

釘許容せん断耐力(土台) $K*d^{1.8}*Kjd*Kjm*Kjs*N$ 2586 N

釘許容せん断耐力(柱) $K*d^{1.8}*Kjd*Kjm*Kjs*N$ 2252 N